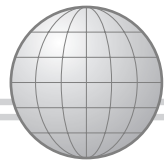




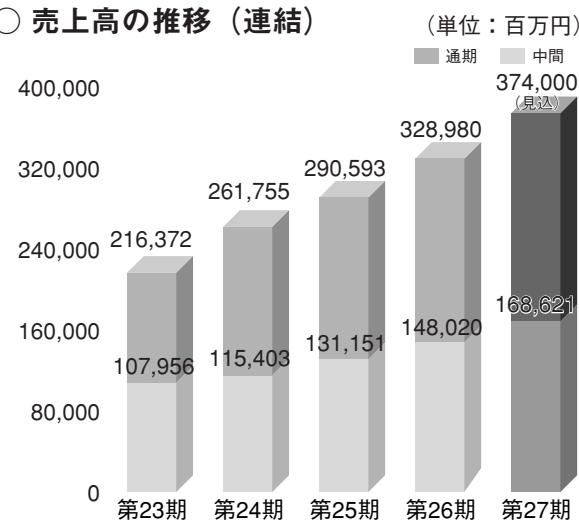
H.I.S. Interim Business Report

第 27 期 (平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

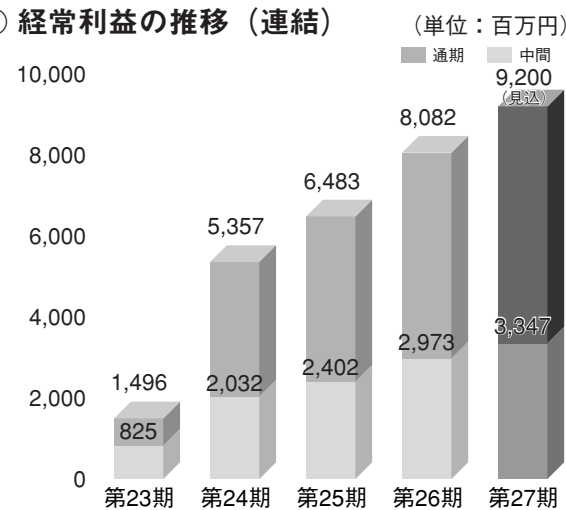


連結財務ハイライト

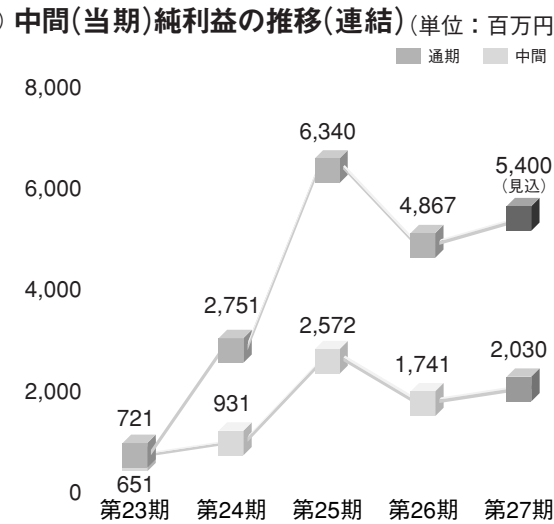
売上高の推移 (連結)



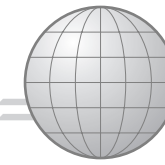
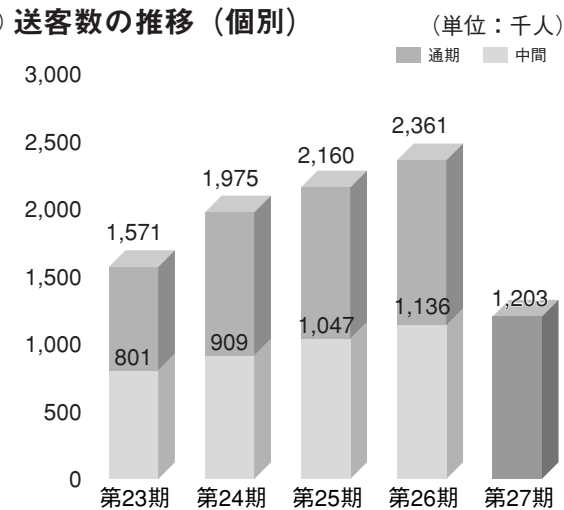
経常利益の推移 (連結)



中間(当期)純利益の推移(連結) (単位: 百万円)



送客数の推移 (個別)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様にH.I.S. Interim Business Reportをお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社第27期の上半期(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)を振り返りますと、日本経済は景気が回復基調をたどりつつも、不透明さも拭いきれない状況で推移いたしました。旅行業界におきましては、景気の動向を背景として海外旅行に対する需要が緩やかに上昇してゆくものと予想されておりましたが、原油価格上昇に伴う燃油特別付加運賃の負担増や為替の円安傾向が重しとなり、国際観光振興機構(JNTO)によるこの期間の日本人出国者数(推計値)は前年同期比約0.6%増(約5万1千人増)の約855万3千人となり、期待値よりも少し伸び悩む結果となりました。

このような経営環境のなかで、当社グループの旅行事業におきましては、お客様のご要望に合うような積極的な商品展開と営業施策を図り、インターネットによる販売体制も引き続き強化し、法人向け・団体向けにつきましてもきめ細かく営業活動を進めてまいりました。ホテル事業におきましては、オーストラリア国内の好景気を背景にして客室稼働率が高水準を維持しており、堅調な業績を示しております。

以上のような結果、当上半期の当社グループの業績は、売上高1,686億21百万円(前年同期比13.9%増)、経常利益33億47百万円(前年同期比12.6%増)、中間純利益20億30百万円(前年同期比16.6%増)を計上することとなりました。また、当社単独の業績につきましては、売上高1,448億49百万円(前年同期比15.8%増)、経常利益20億12百万円(前年同期比5.0%増)、中間純

利益11億20百万円(前年同期比3.2%増)となっております。

今後の経営環境につきましては、海外旅行の需要は、原油価格の動向や為替変動など懸念要素は依然として認められますものの、日本経済の堅調さに支えられて全般的に緩やかな増加傾向を示してゆくものと予想されます。

このような見通しのもとに、当社グループは、主力の旅行事業につきましては、多様化してゆくお客様の需要にお応えできるよう、商品の設定内容とサービスに一層の工夫をこらし、インターネットやコールセンターによる販売体制の拡充に努め、法人向け・団体向けの営業につきましても引き続き積極的な展開を図ってまいります。ホテル事業に関しましては、オーストラリアで営業している二つのホテルの収益基盤強化をさらに推進し、事業規模の着実な拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月



代表取締役社長
鈴木 芳夫



中間連結貸借対照表

(平成19年4月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	70,899	流動負債	48,236
現金及び預金	36,945	営業未払金及び買掛金	20,758
売掛金	6,244	短期借入金	24
営業未収入金	9,945	一年以内返済予定 長期借入金	12
有価証券	3,403	未払金	688
繰延税金資産	1,555	未払費用	1,565
旅行前払金	8,602	未払法人税等	1,158
前払費用	754	未払消費税等	410
短期貸付金	2,269	旅行前受金	20,128
その他	1,292	賞与引当金	1,721
貸倒引当金	△ 113	役員賞与引当金	24
固定資産	25,444	短期積立付与引当金	2
有形固定資産	7,502	その他	1,741
建物	5,063	固定負債	1,806
器具及び備品	705	長期借入金	170
土地	1,634	繰延税金負債	10
その他	99	退職給付引当金	1,161
無形固定資産	1,461	役員退職慰労引当金	373
投資その他の資産	16,481	長期積立付与引当金	0
投資有価証券	9,082	その他	90
長期貸付金	990	負債合計	50,042
差入保証金	4,297	純資産の部	
繰延税金資産	1,387	株主資本	44,697
その他	851	資本金	6,882
貸倒引当金	△ 128	資本剰余金	7,782
資産合計	96,344	利益剰余金	30,894
		自己株式	△ 861
		評価・換算差額等	1,202
		その他有価証券 評価差額金	△ 1,126
		繰延ヘッジ損益	△ 105
		為替換算調整勘定	2,434
		少数株主持分	401
		純資産合計	46,301
		負債・純資産合計	96,344



中間連結損益計算書

(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	168,621
売上原価	144,129
売上総利益	24,492
販売費及び一般管理費	21,549
営業利益	2,942
営業外収益	546
営業外費用	141
経常利益	3,347
特別利益	23
特別損失	40
税金等調整前中間純利益	3,330
法人税、住民税及び事業税	1,272
少数株主利益	27
中間純利益	2,030



中間連結株主資本等変動計算書

(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年10月31日残高	6,882	7,782	29,531	△ 857	43,338	△ 555	△ 566	1,559	437	373	44,149
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 667		△ 667					-	△ 667
中間純利益			2,030		2,030					-	2,030
自己株式の取得				△ 4	△ 4					-	△ 4
自己株式の処分		0		0	0					-	0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					-	△ 571	460	875	764	28	792
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	1,362	△ 4	1,358	△ 571	460	875	764	28	2,151
平成19年4月30日残高	6,882	7,782	30,894	△ 861	44,697	△ 1,126	△ 105	2,434	1,202	401	46,301



中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 583
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 671
現金及び現金同等物に係る換算差額	367
現金及び現金同等物の増加額	624
現金及び現金同等物の期首残高	36,515
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,139

連結対象会社

当社の連結決算の対象は、連結子会社33社と持分法適用関連会社4社であり、次のようになっております。

(1) 連結子会社

① 日本国内

株式会社ナンバーワントラベル渋谷
株式会社エイチ・アイ・エス沖縄
株式会社オリオンツアー
株式会社ATB
株式会社クルーズプラネット

以上5社

② アジア、オセアニア

HIS (HONG KONG) COMPANY LIMITED
H.I.S. WESTRALIA PTY LTD.
H.I.S. KOREA CO., LTD.
PT. HARUM INDAH SARI TOURS AND TRAVEL
など13社

③ 北米 (含むハワイ、グアム、サイパン)

H.I.S. U.S.A. INC.
H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (NY) INC.
HAWAII HIS CORPORATION
H.I.S. GUAM, INC.
H.I.S. SAIPAN, INC

など10社

④ ヨーロッパ

H.I.S. EUROPE LIMITED
H.I.S. Deutschland Touristik GmbH.
H.I.S. INTERNATIONAL TOURS FRANCE

など5社

(2) 持分法適用関連会社

九州産業交通ホールディングス株式会社
HIS - HS九州産交投資事業有限責任組合
H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (L.A.), INCORPORATED
H.I.S. TAIWAN COMPANY LIMITED

以上4社

中間貸借対照表 (個別)

(平成19年4月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	57,974	流動負債	42,258
現金及び預金	26,586	営業未払金	17,090
売掛金	4,590	旅行前受金	18,608
営業未収入金	8,799	その他	6,559
有価証券	3,403	固定負債	1,440
その他	14,595	負債合計	43,699
固定資産	27,598	純資産の部	
有形固定資産	1,359	株主資本	43,110
無形固定資産	1,332	資本金	6,882
投資その他の資産	24,905	資本剰余金	7,782
資産合計	85,572	利益剰余金	29,306
		自己株式	△ 861
		評価・換算差額等	△ 1,236
		純資産合計	41,873
		負債・純資産合計	85,572

中間損益計算書 (個別)

(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	144,849
売上原価	126,053
売上総利益	18,795
販売費及び一般管理費	16,899
営業利益	1,895
営業外収益	231
営業外費用	115
経常利益	2,012
特別利益	18
特別損失	30
税引前中間純利益	2,000
法人税、住民税及び事業税	879
中間純利益	1,120

中間株主資本等変動計算書 (個別)

(平成18年11月1日から平成19年4月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計				
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	別途積立金	特別償却準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成18年10月31日残高	6,882	7,778	3	7,782	246	23,565	2	5,040	28,854	△ 857	42,661	△ 553	△ 566	△ 1,120	41,541
中間会計期間中の変動額															
剰余金の配当				-				△ 667	△ 667		△ 667			-	△ 667
別途積立金の積立				-	2,000			△ 2,000	-		-			-	-
特別償却準備金の取崩				-		△ 1	1	-			-			-	-
中間純利益				-				1,120	1,120		1,120			-	1,120
自己株式の取得				-				-	△ 4	△ 4				-	△ 4
自己株式の処分			0	0				-		0	0			-	0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)				-				-			-	△ 577	460	△ 116	△ 116
中間会計期間中の変動額合計	-	-	0	0	-	2,000	△ 1	△ 1,545	452	△ 4	448	△ 577	460	△ 116	332
平成19年4月30日残高	6,882	7,778	3	7,782	246	25,565	1	3,494	29,306	△ 861	43,110	△ 1,130	△ 105	△ 1,236	41,873

トピックス

●「さらに便利に」を目指して

日本最大級の海外旅行専門店トラベルワンダーランド新宿本社営業所が平成18年11月に、トラベルワンダーランド名古屋が平成19年3月に、それぞれリニューアルオープンしました。海外旅行の専門店として深化を進め、ますます多様化するお客様のご旅行ニーズに一層濃やかに対応できるようにしてまいります。

また、新しいコンセプトに立つ海外旅行専門店「アズーリトラベル三宮」も、平成19年1月にオープンしています。

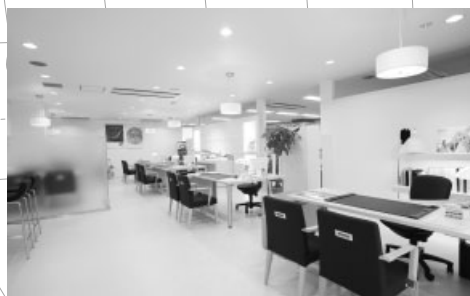


(アズーリトラベル三宮)



●シニアのお客様に向けて

今後ますます海外旅行の需要増加が予想されるシニアのお客様。そのようなゆとりのあるお客様向けに新たな旅行商品（周遊プラン）を提案し、販売いたしました。今後ともプランの充実を図って、シニアのお客様のお役に立ちたいと願っております。



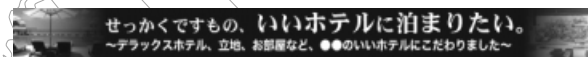
(トラベルワンダーランド名古屋のシニアデスク)



シニア・アクティブエイジなど大人の為の周遊プラン。
シニアエイジが楽しめる海外ツアー

●「いいホテルに泊まろう」キャンペーン

グレードの高いホテルを組み込んだパッケージツアーを提案してお客様に積極的にお薦めし、多くの皆様にご利用いただくことができました。



●充実するインターネットコンテンツ

インターネットを利用するお客様のニーズに対応して、平成19年3月にはホテル予約サイトをリニューアルオープンし、取り扱い件数も大幅にスケールアップしました。今後もブログを活用したコミュニティの展開、旅行関連の動画映像配信などを行い、ホームページ全体の利便性の向上を進めてまいります。



●株式会社エイチ・アイ・エス エクスぺリエンス ジャパン、本格サービスを開始

当社子会社の株式会社エイチ・アイ・エス エクスぺリエンス ジャパン（平成18年11月に設立）——個人で訪日された外国人旅行者を対象に日本国内の観光サポートを行う——が、平成19年4月から本格的にサービスを開始いたしました。「今だけ ここだけ あなただけ」をテーマにして、高品質なサービスで“本物の日本観光”を提供し、日本の素晴らしさを体感していただくことを目指してゆきます。



役員 (平成19年4月30日現在)

取締役会長	澤田秀雄
※取締役社長	鈴木芳夫
※専務取締役	行方一正
取締役	楠原成基
取締役	平林朗
取締役	平田雅彦
常勤監査役	矢野誠
監査役	梅田常和
監査役	山本克

※印は代表取締役であります。

(注) 1. 取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 梅田常和氏及び監査役 山本 克氏は、いずれも社外監査役であります。

会社の概要 (平成19年4月30日現在)

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S. Co., Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	68億82百万円
株主数	7,449名
従業員数	3,501名 (この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)

主要な事業内容

当社は、旅行業法に基づく旅行業(国土交通大臣登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務に従事し、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。

ホームページ 「<http://www.his-j.com>」

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月
基準日	毎年10月31日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先 または連絡先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417

インターネット <http://www.sumitomotrust.co.jp/ST>
ホームページURL [A/retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/ST/A/retail/service/daiko/index.html)

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法 電子公告(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う)

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(http://www.his-j.com/company/co_main.htm)で公開しております。
最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

単元未満株式の取扱 買取及び買増制度
単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手続きの詳細は、株主名簿管理人の事務取扱場所にお問い合わせ下さい。(株券保管振替制度をご利用される場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

株主様ご優待のお知らせ

当社商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。対象は、毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿及び実質株主名簿にご記載のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様となります。



※100株以上…1枚、500株以上…2枚、1,000株以上…3枚

今回お送りする株主優待券は来年(平成20年)の7月31日までご利用になれます。
また、ご利用にあたっては、当社の商品券「SKY」と併用することも、ご利用になる営業所にご郵送いただくこともできます。